

**伊勢市観光振興基本計画策定業務**

**地域力診断調査  
結果報告書**

**2013年9月30日**

**株式会社 リクルートライフスタイル  
じゃらん リサーチセンター**

# 地域に見える化「地域力診断」概要

観光地の地域活性に「必要な要素」が備わっているか、地域の「強み」と「課題」を可視化し、取り組むべき課題が明確に

地域活性化フレームをベースに、**対象地域の「現状」を診断**する

## 目的

- 必要な要素が地域に備わっているか、何を重要と考えているか、を「可視化」
- 結果から、地域の「強み」と「課題」を発見し、解決のための改善策を提案

## 特徴

- ① **元気な地域を構造化した「地域活性化フレーム」**を活用
  - 観光による地域活性がうまく進んでいる地域の要素（資源）と繋がりを構造化
  - 「知的資本経営」（詳細次ページ）の考えをベースに、「成長企業」の成功要素も加味
  - ゴールは「交流人口増」「滞在時間増」「消費金額増」
- ② **強みと課題が「可視化」**
  - 地域活性に必要な経営資源（ストック）と資源同士の結びつき（フロー）で表現
- ③ 所属組織毎・年齢毎の診断結果により、**認識の違いが明確化**
  - 地域力を最大にするためには、人々の「共通認識醸成」が必須
  - 所属組織別・年齢別等の現状認識の違いが可視化され、共通点・相違点が明確に

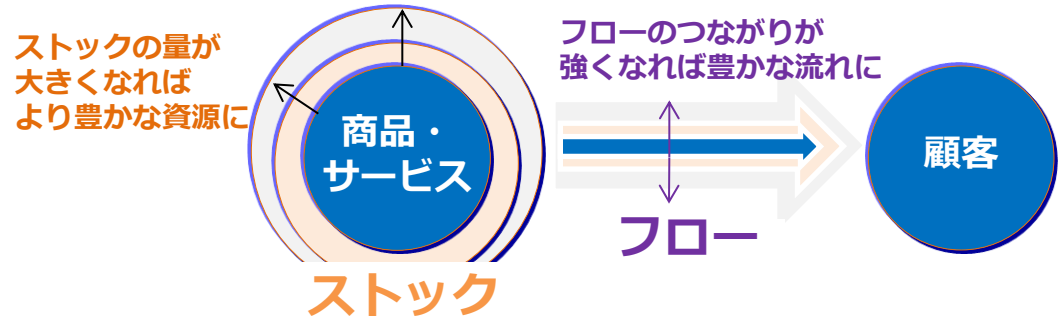
## 調査手法

地域全体を理解している、理解しているべき役割の人によるアンケート調査

# 地域の見える化「地域力診断」概要 – 地域力診断の考え方・見方

## 考え方

- 報告書では、地域を構成する重要な要素を「経営資源」と名づけています。
- 「経営資源」は、「増やすもの」であり、「投じるもの」という特性をもちます。そのことを「ストック」と「フロー」という考え方で表わしています。
- ストックとは、ある時点での経営資源の「量の豊かさ=量の良好度」、フローは、ある時点での経営資源から経営資源への「流れの豊かさ=流れの良好度」と定義しています。
- よって、経営資源が価値を高めるためには、ストック（量の豊かさ）だけではなく、フロー（流れの豊かさ）の両方が重要であり、適切に管理する必要があります。



- |      |  |
|------|--|
| ストック | 例)【商品・サービス】は、顧客満足や集客に十分なレベルか？                |
| フロー  | 例)【商品・サービス】は、新規の集客やリピートする【顧客】を増やすことに繋がっているか？ |

## 見方

### 【ストック】

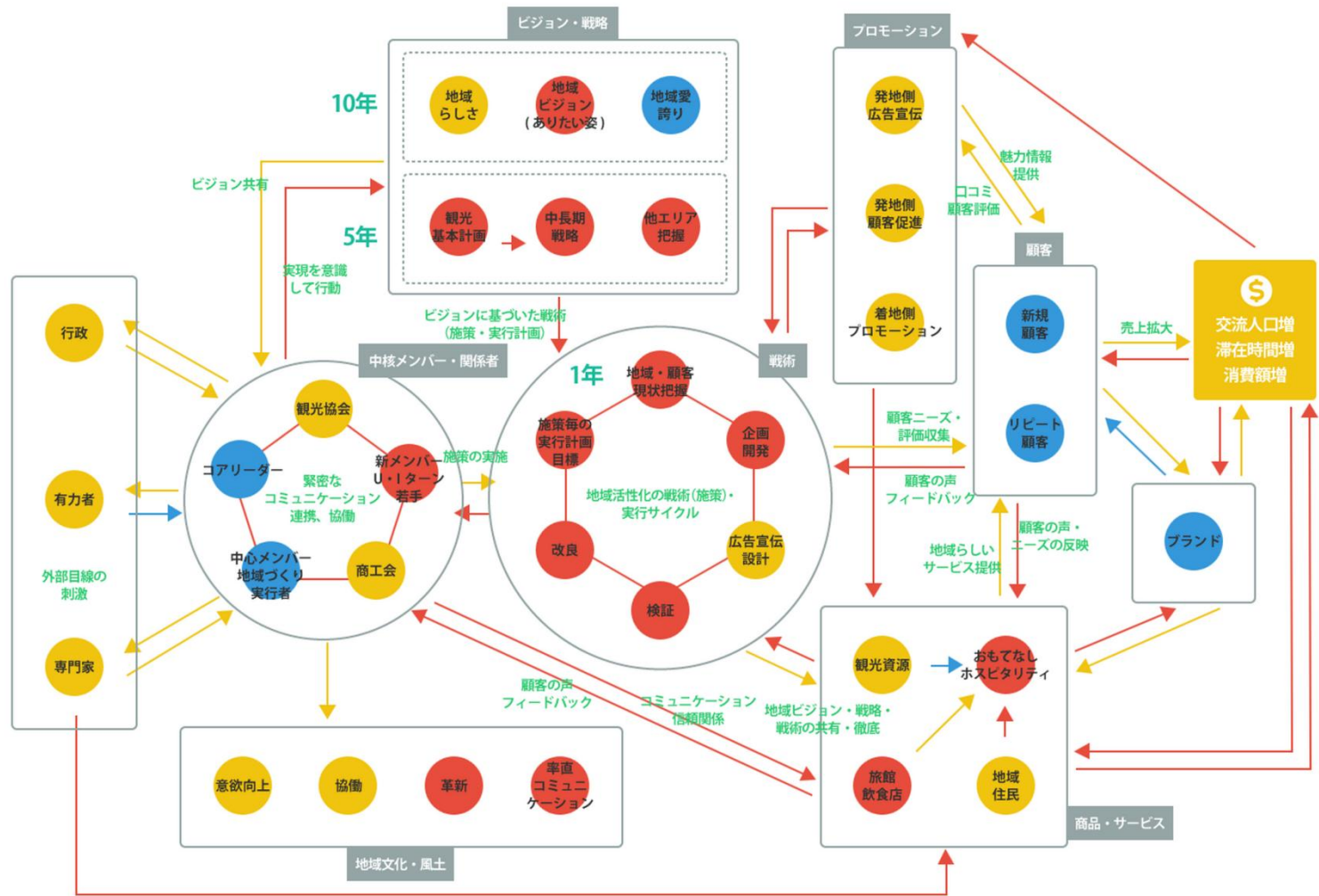
- ・ 良好 豊かである
- ・ 普通 質量面でやや物足りない
- ・ 問題 早急な課題解決・改善が必要
- ・ 重要度が高い
- ・ 重要度が低い

### 【フロー】

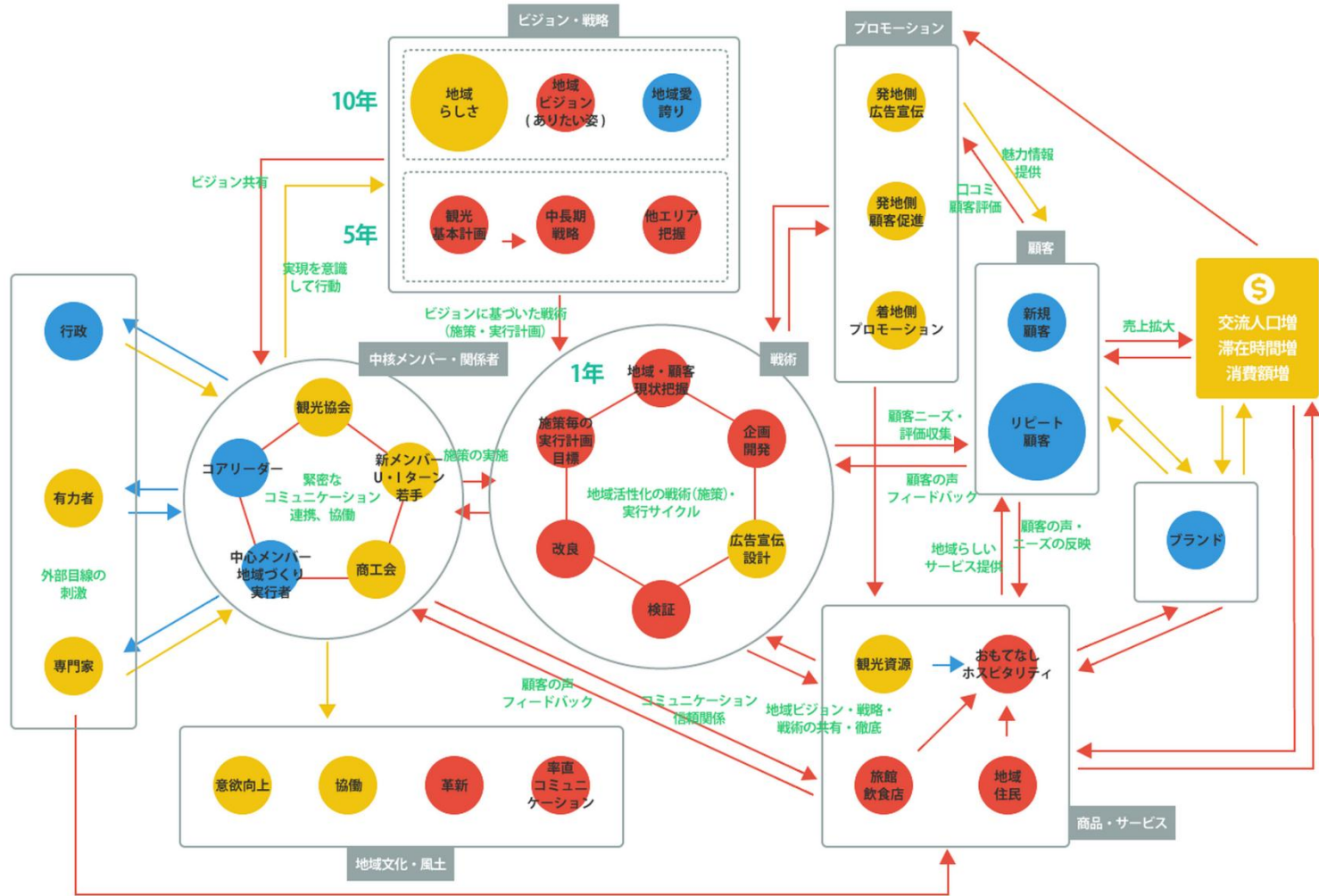
- ・ 良好 豊かである
- ・ 普通 質量面でやや物足りない
- ・ 問題 早急な課題解決・改善が必要
- ・ 重要度が高い
- ・ 重要度が低い

## ■ 伊勢市全体 133人

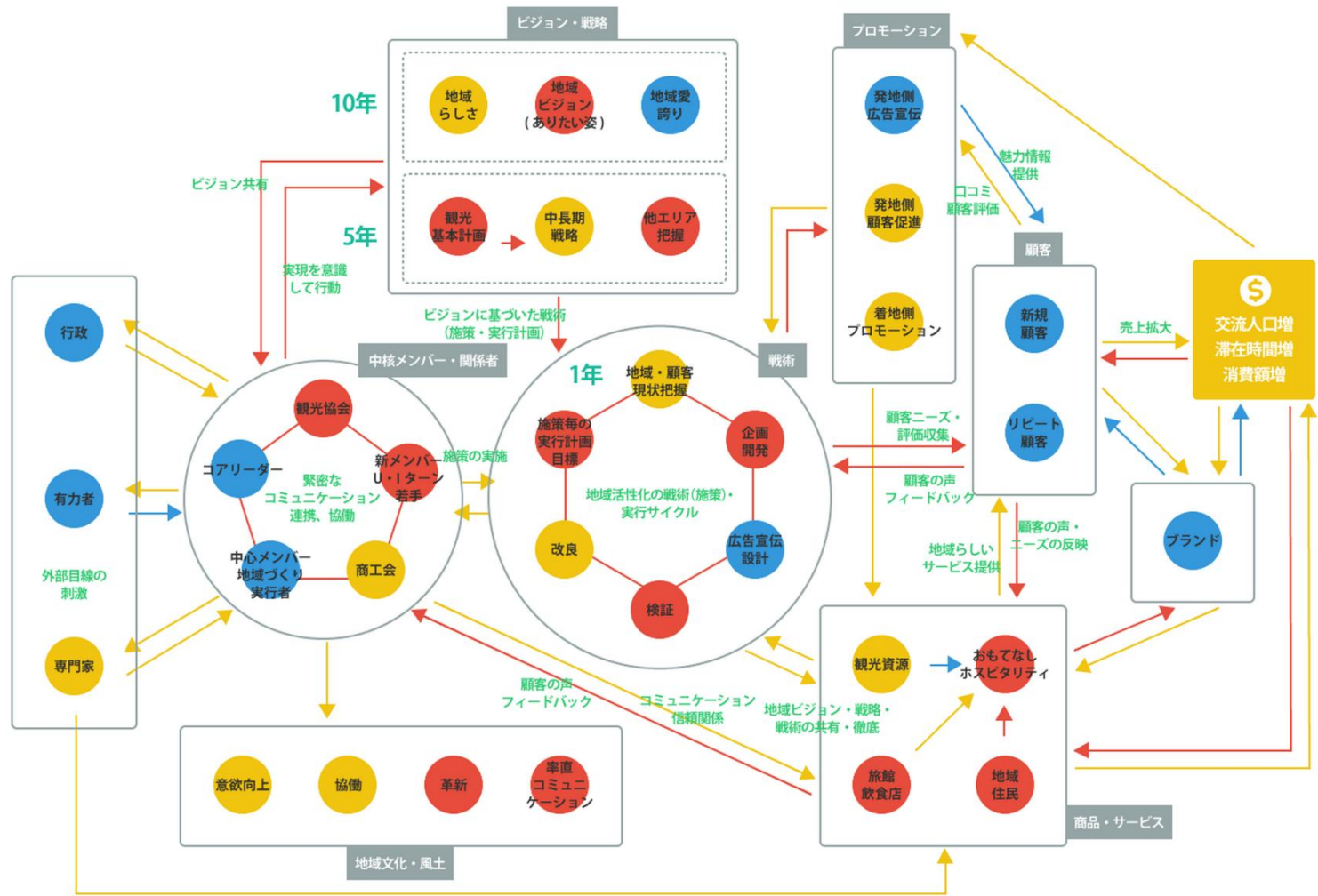
■ 1. 伊勢市役所	25人
■ 2. 御遷宮対策事務局	8人
■ 3. 伊勢志摩観光コンベンション機構	14人
■ 4. 伊勢商工会議所	31人
■ 5. 小俣町商工会	4人
■ 6. 伊勢市観光協会	28人
■ 7. 旅館組合・民宿組合	12人
■ 8. 伊勢おはらい町会議	10人
■ 9. 外宮参道発展会	8人
■ 10. 伊勢河崎まちづくり衆	7人
■ 11. 二見浦わいわい元気塾	9人
■ 12. 伊勢志摩バリアフリースターセンター	6人
■ 13. 神宮司庁	5人
■ 14. その他	6人



## 伊勢市全体



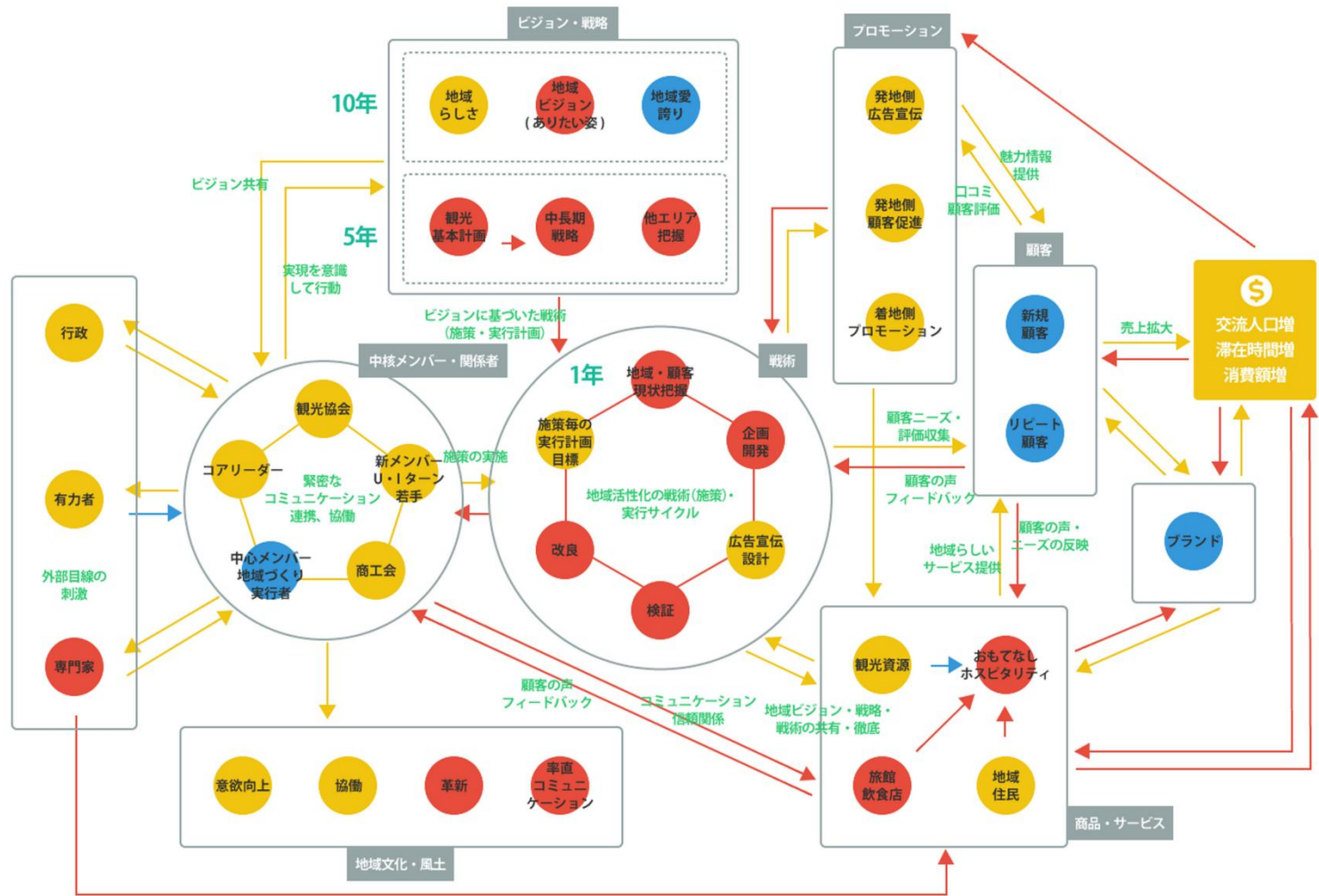
## 御遷宮対策事務局



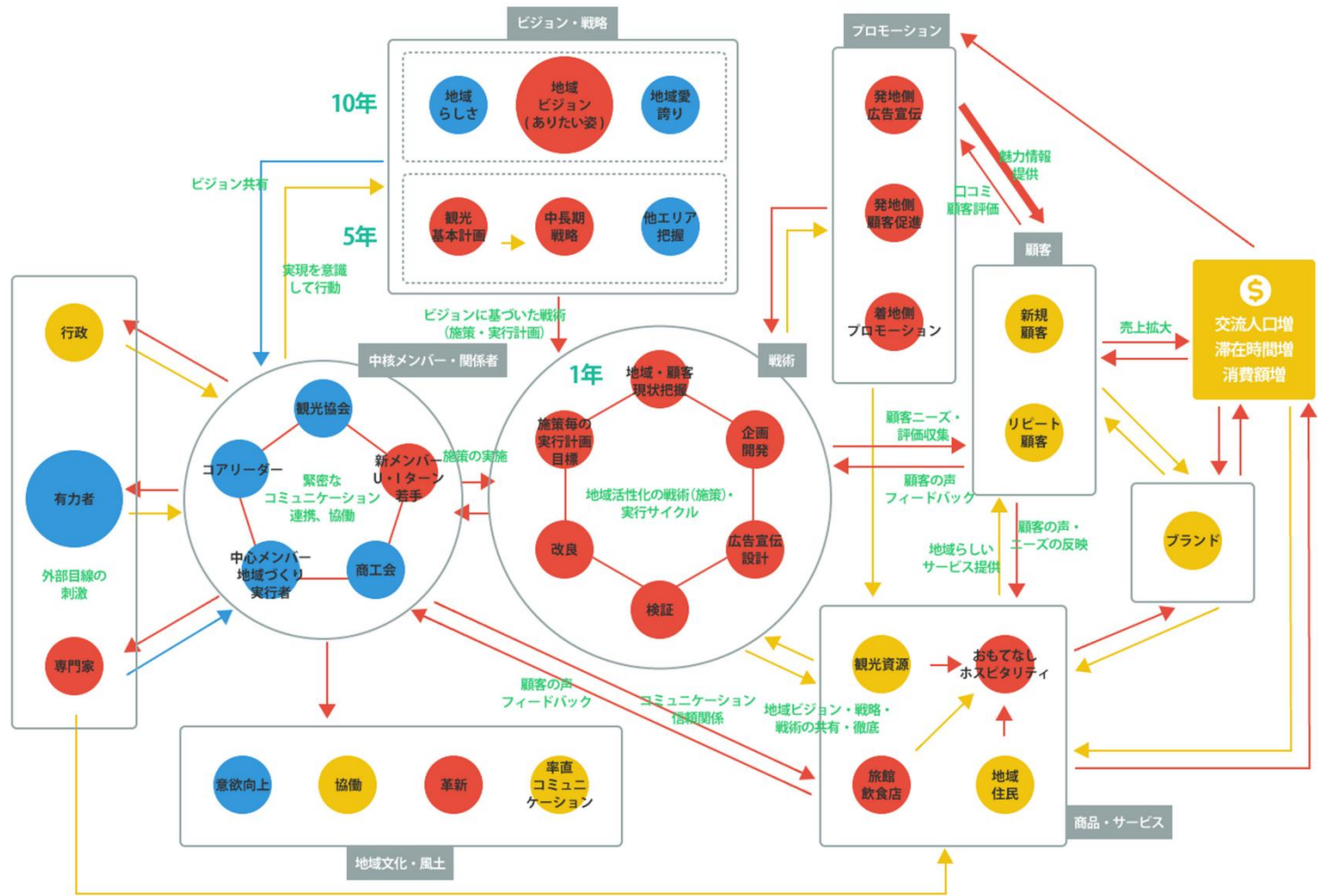
## 伊勢市 市役所



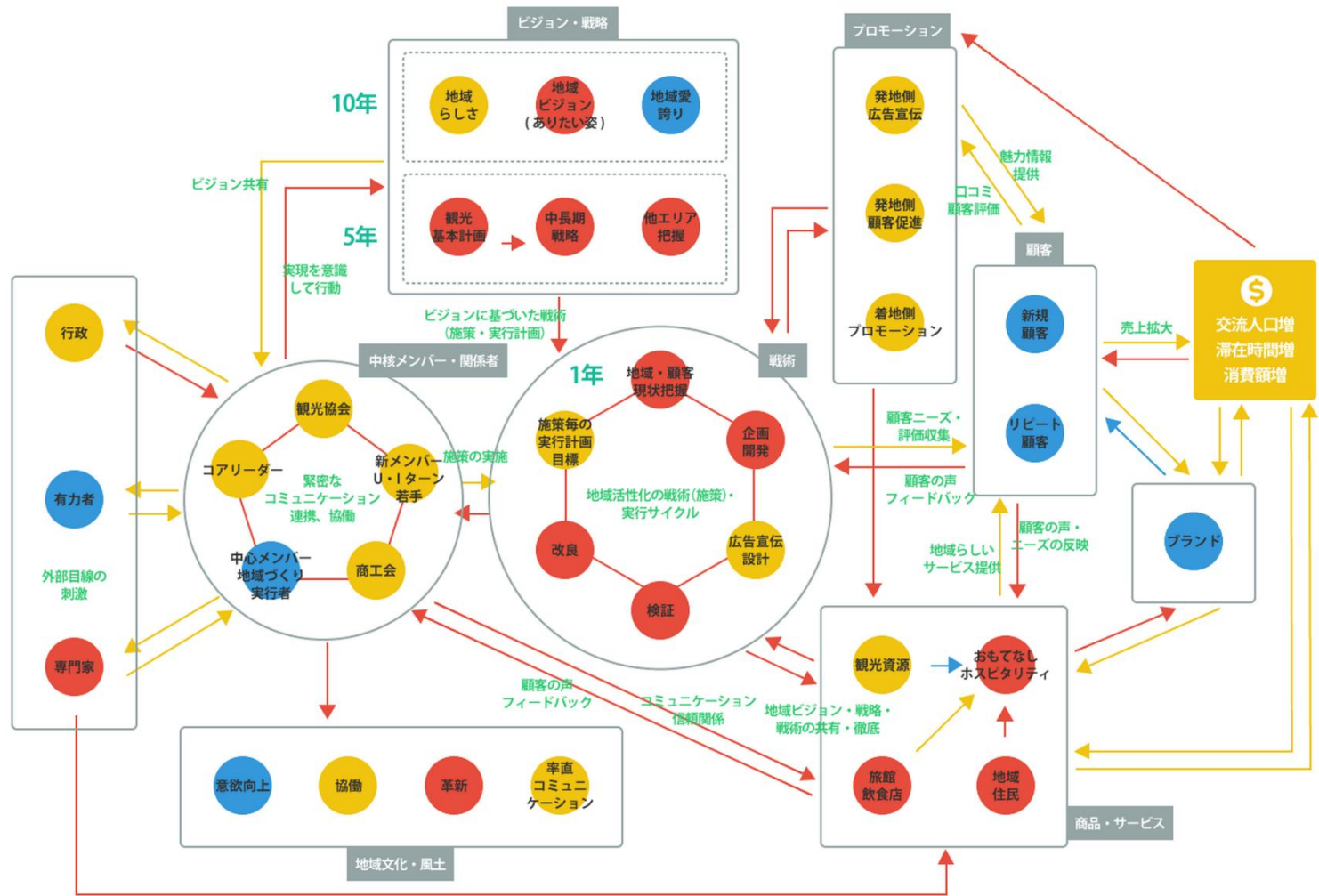




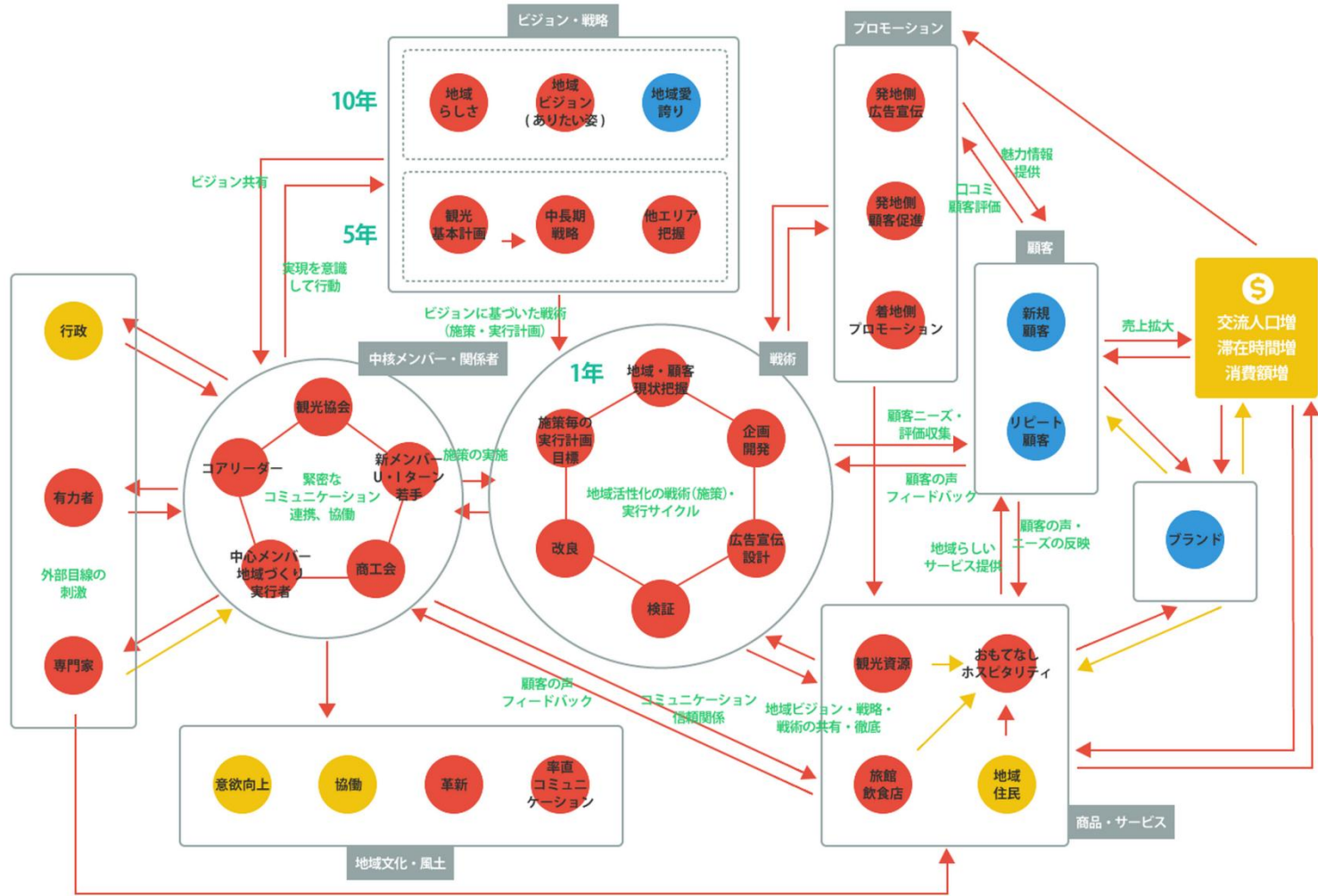
## 伊勢商工会議所



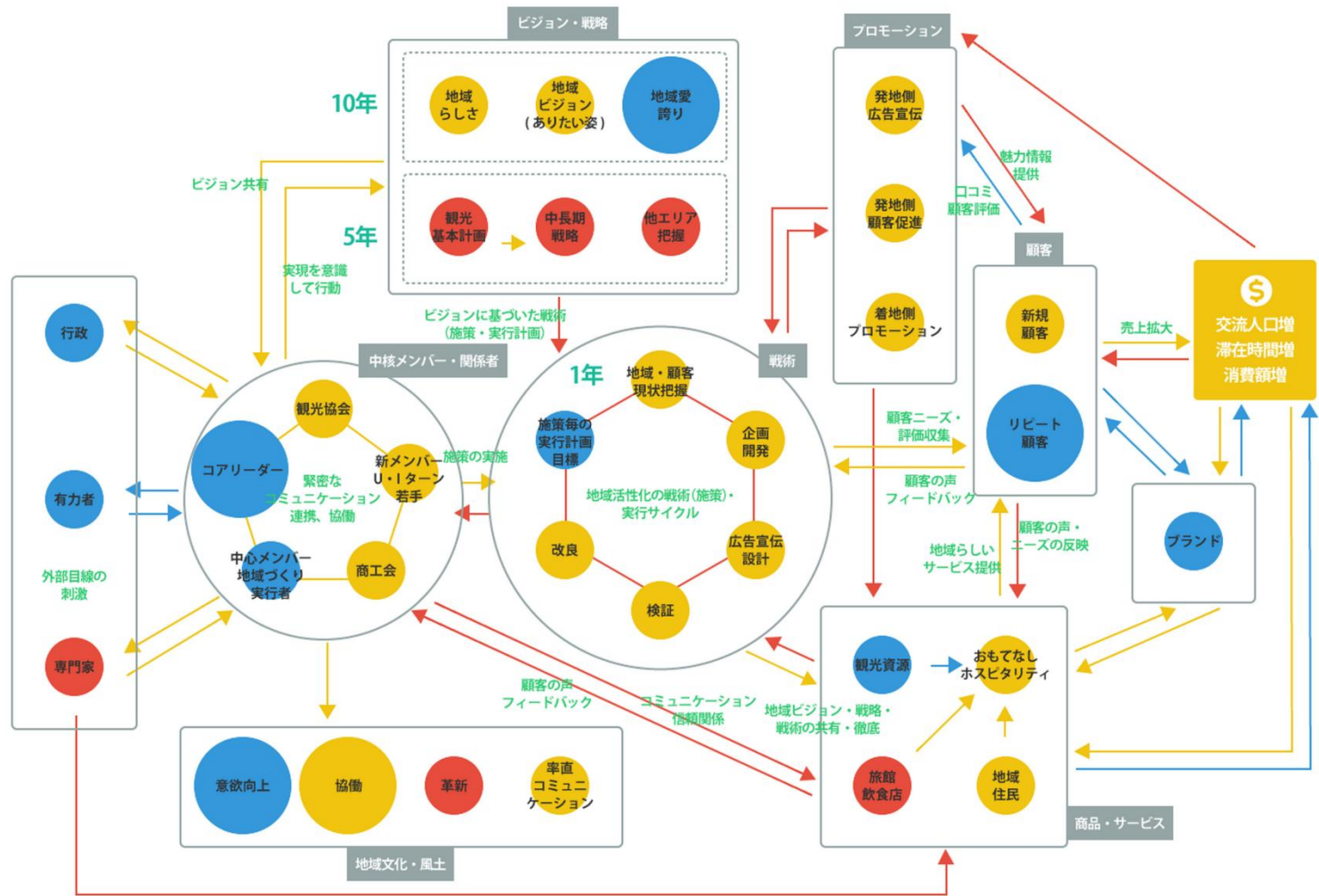
## 小俣町商工会



## 伊勢市観光協会

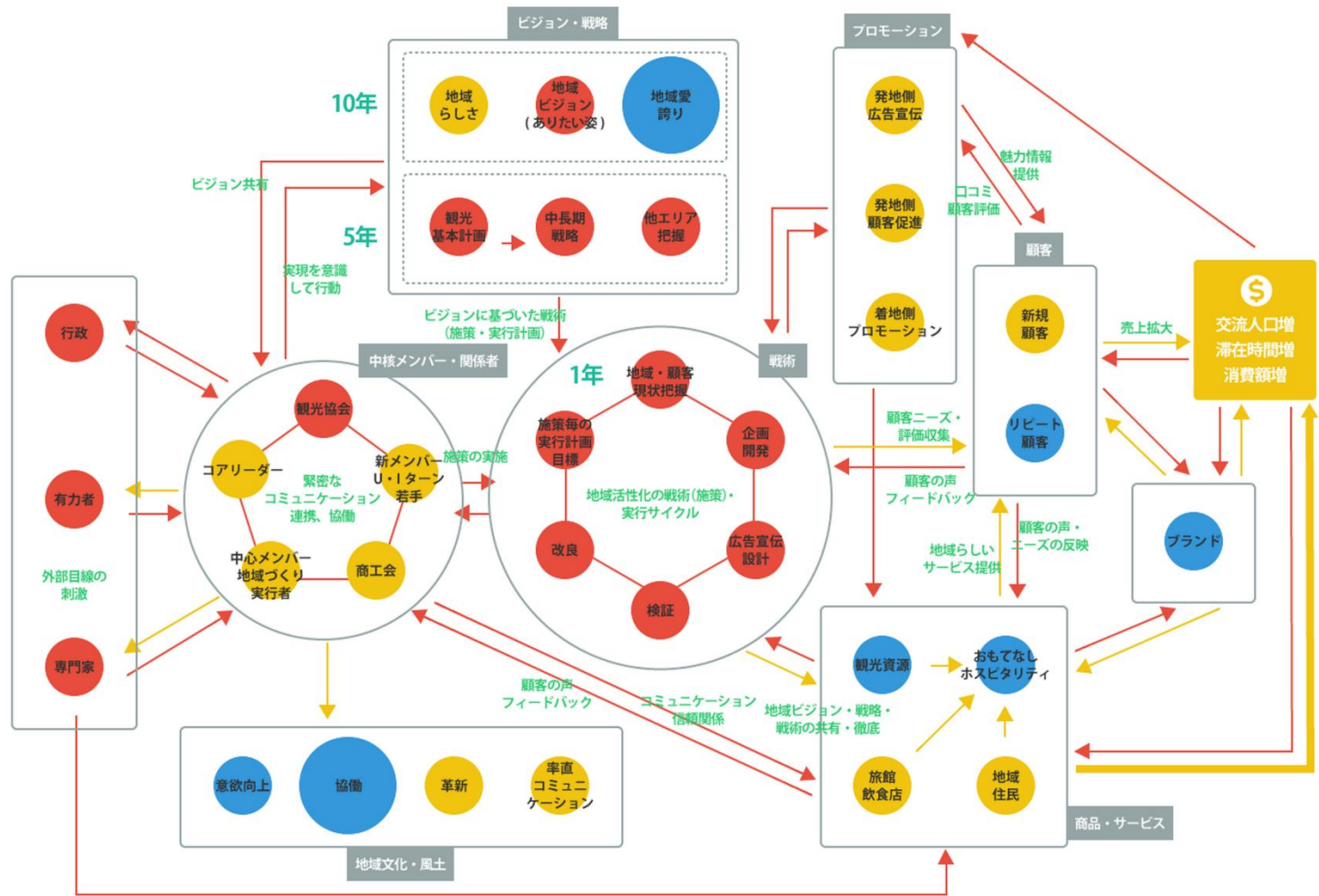


## 旅館組合・民宿組合

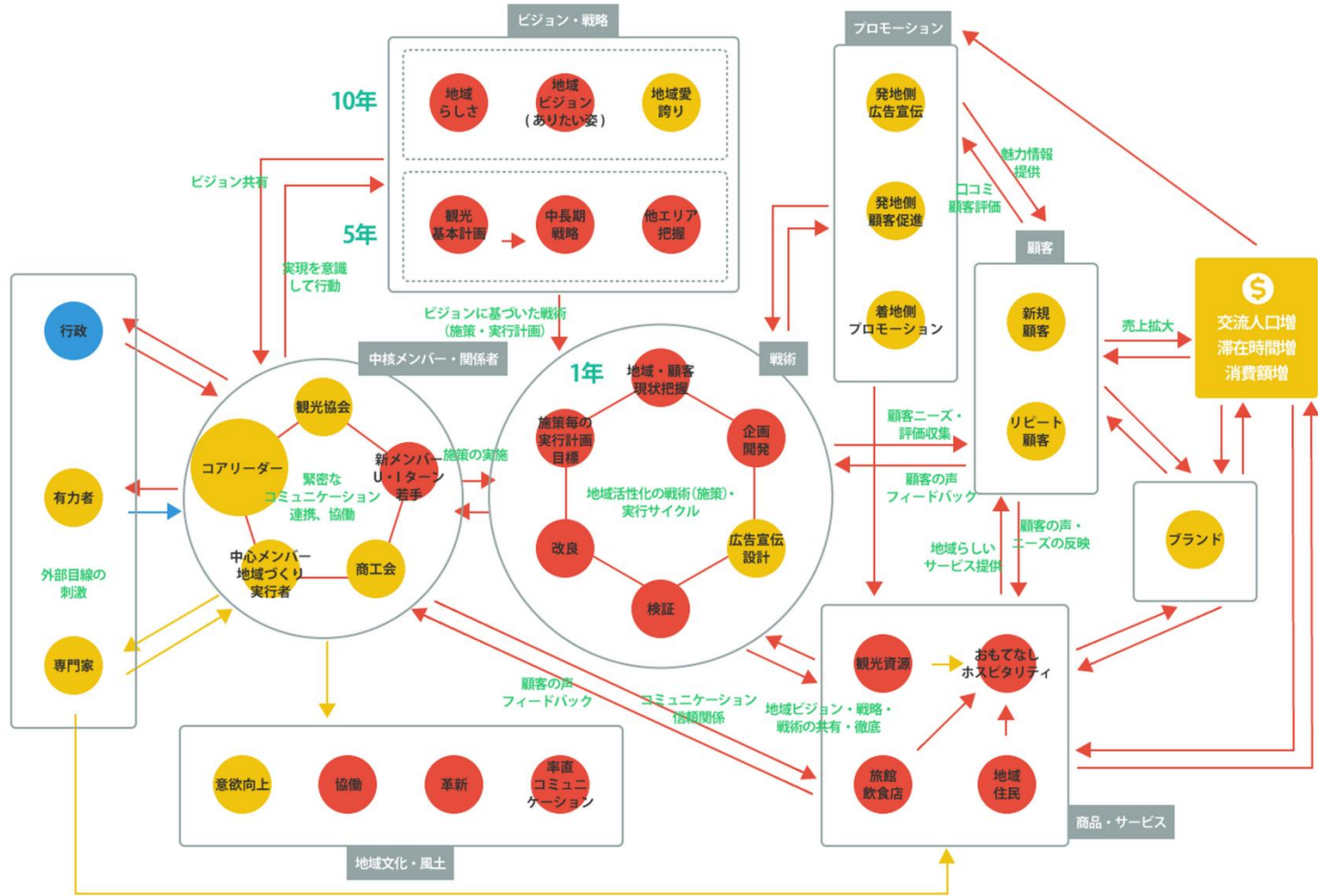


## 伊勢おはらい町会議



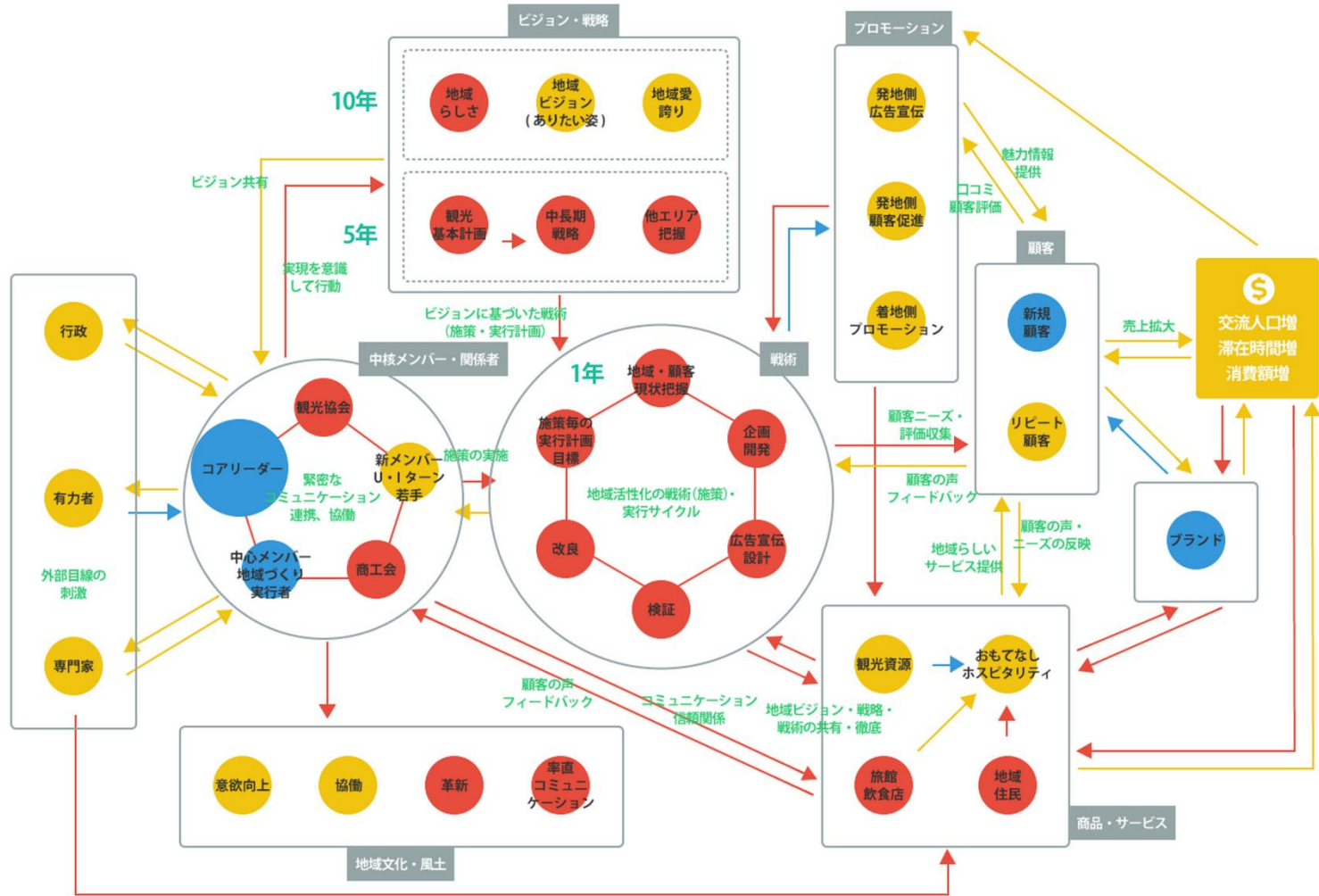


## 伊勢河崎まちづくり衆

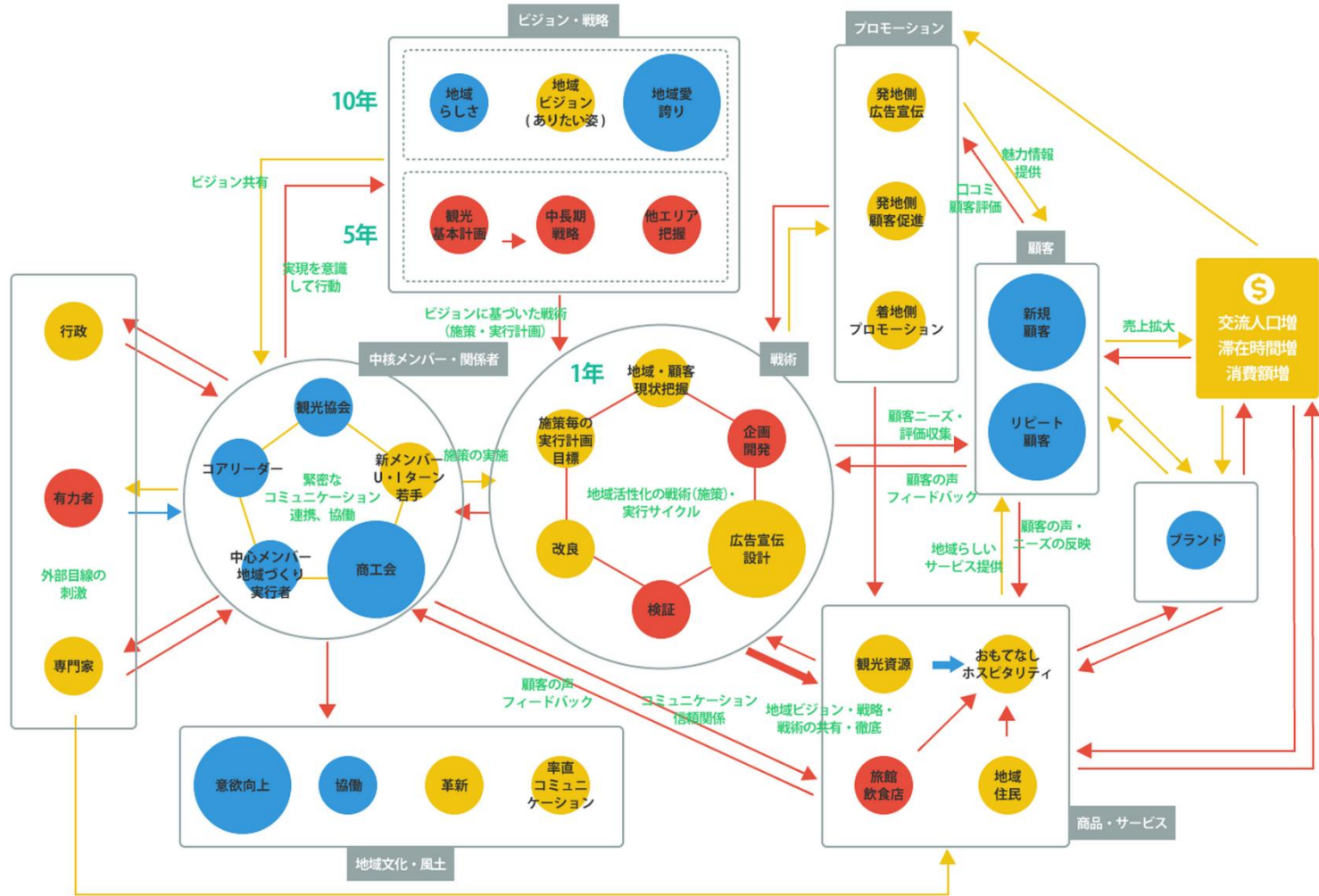


## 二見浦わいわい元気塾

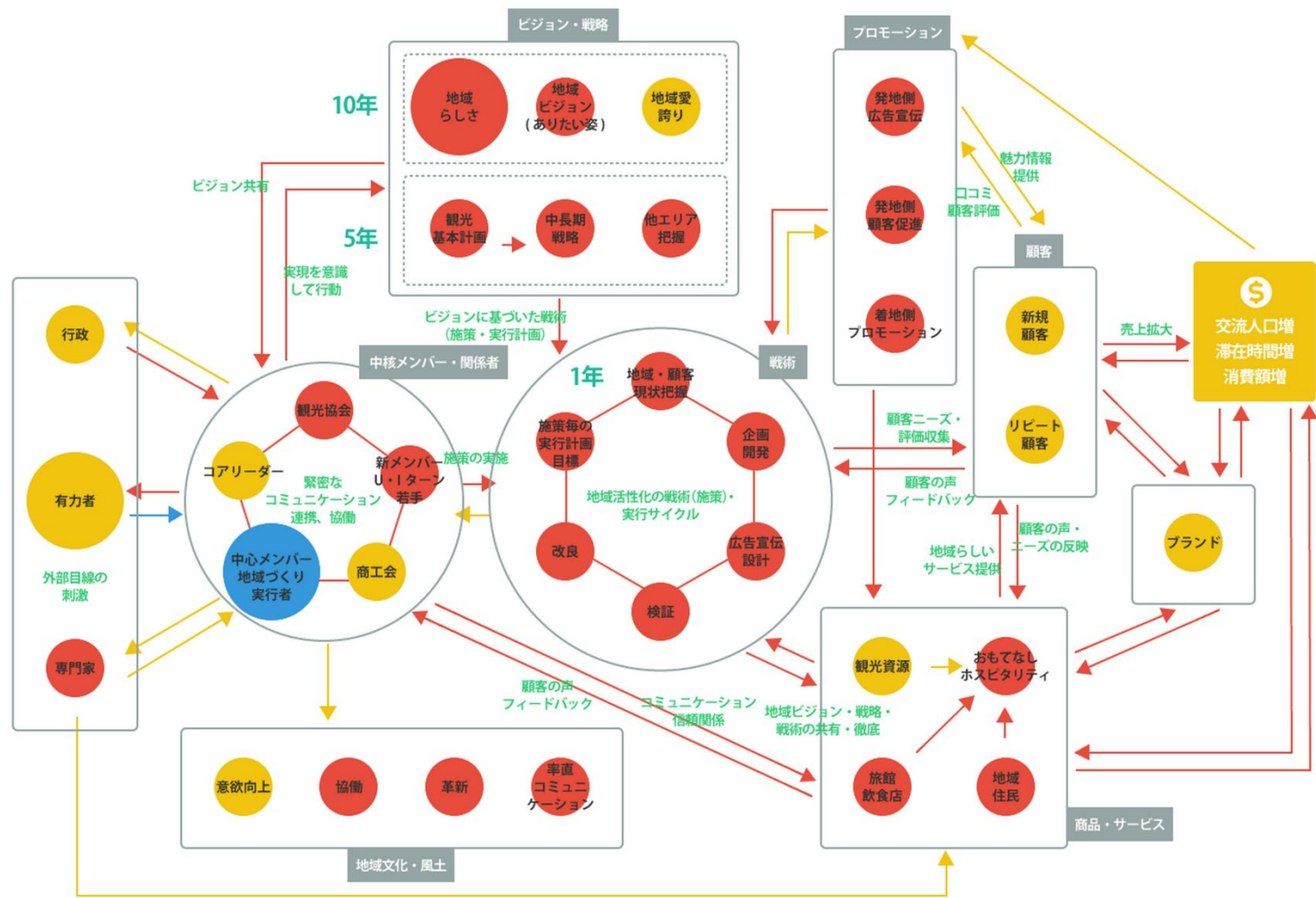




## 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター



# 神宮司庁



## 伊勢市 その他